

## 4 まちづくり

### (1) 歩道を歩いている困ったこと(問12)

#### 高齢者

「歩道の障害物」が49.8%で最も多く、次いで「歩道の段差」44.4%、「歩道や道路が工事中のとき」33.0%、「歩道橋」17.1%、「歩道から車道間の移動」16.2%と続いている。「困ったことはとくにない」は24.9%である(図表 - 4 - 1 高齢者・全体)。

圏域別にみると、関東と関西で順位が異なっており、さらに関西の方が困ったことを指摘する比率が高い。1位から4位をみると、関東は「歩道の段差」「歩道の障害物」「歩道や道路が工事中のとき」「歩道橋」で、関西は「歩道の障害物」「歩道の段差」「歩道や道路が工事中のとき」「歩道橋」となっている(図表 - 4 - 1 高齢者・圏域)。

都市規模別にみると、各都市規模で指摘の比率や順位が異なっている。大都市等、小都市は「歩道の障害物」がともに最も多いが比率はそれぞれ76.7%と55.3%で21.4ポイントの差があり、過疎地域は「困ったことはとくにない」が最も多く47.6%で、困ったことで最も多いのは「歩道の段差」26.8%となっている(図表 - 4 - 1 高齢者・都市規模)。

#### 保育所・幼稚園利用者

「歩道の障害物」50.4%、「歩道の段差」49.6%、「歩道や道路が工事中のとき」44.2%の3つが、ほかを引き離して高い項目になっている。「困ったことはとくにない」は16.5%である(図表 - 4 - 1 保育所幼稚園・全体)。

圏域別にみると、関東と関西で比率は大差ないものの順位が異なっている。関東の1から3位は「歩道の段差」「歩道の障害物」「歩道や道路が工事中のとき」で、関西は「歩道の障害物」「歩道の段差」「歩道や道路が工事中のとき」となっている(図表 - 4 - 1 保育所幼稚園・圏域)。

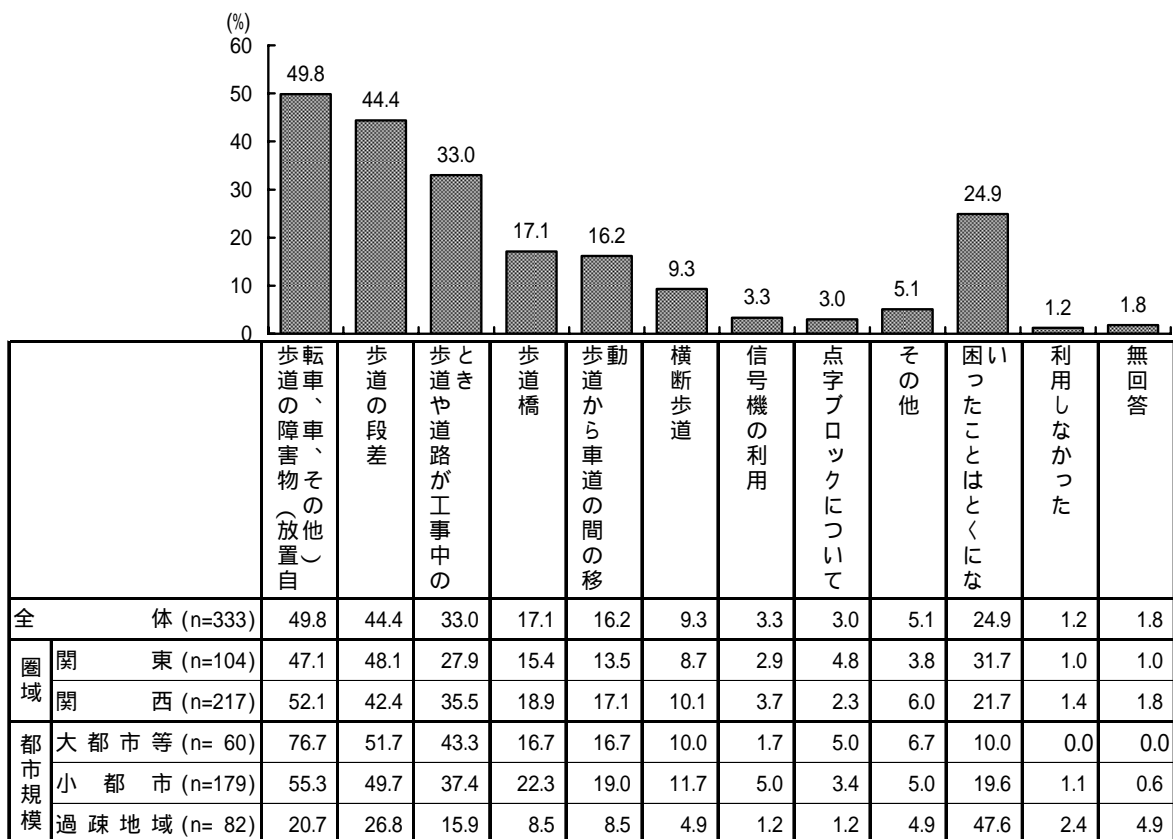
都市規模別にみると、各都市規模で指摘の比率や順位がかなり異なっている。大都市等で最も多いのは「歩道の障害物」で74.6%、小都市では「歩道の段差」で50.8%、過疎地域は「困ったことはとくにない」が最も多く38.5%で、困ったことで最も多いのは「歩道の段差」30.8%となっている(図表 - 4 - 1 保育所幼稚園・都市規模)。

#### 《その他の意見》

- ・ 歩道を走る自転車にいつも危険を感じる。(高齢者、北海道・東北)
- ・ 国道以外は歩道が細く、歩道に危険個所が多い。(高齢者、中部)
- ・ 歩きタバコをしている人が多い。(保育園・幼稚園利用者、近畿)
- ・ 横断出来る時間が短すぎて子どもがいる時怖かった。(保育園・幼稚園利用者、関東甲信越北陸)
- ・ 歩くのや、ベビーカーを押して歩くのに道が狭すぎる。段差が多すぎる。(保育園・幼稚園利用者、北海道・東北)

図表 - 4 - 1 歩道を歩いていて困ったこと（高齢者、保育所・幼稚園利用者）

高齢者



保育所・幼稚園

